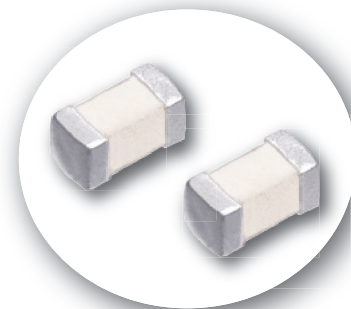


高耐量 ESD サプレッサ

車載高速データライン (Ethernet) の ESD 対策に貢献



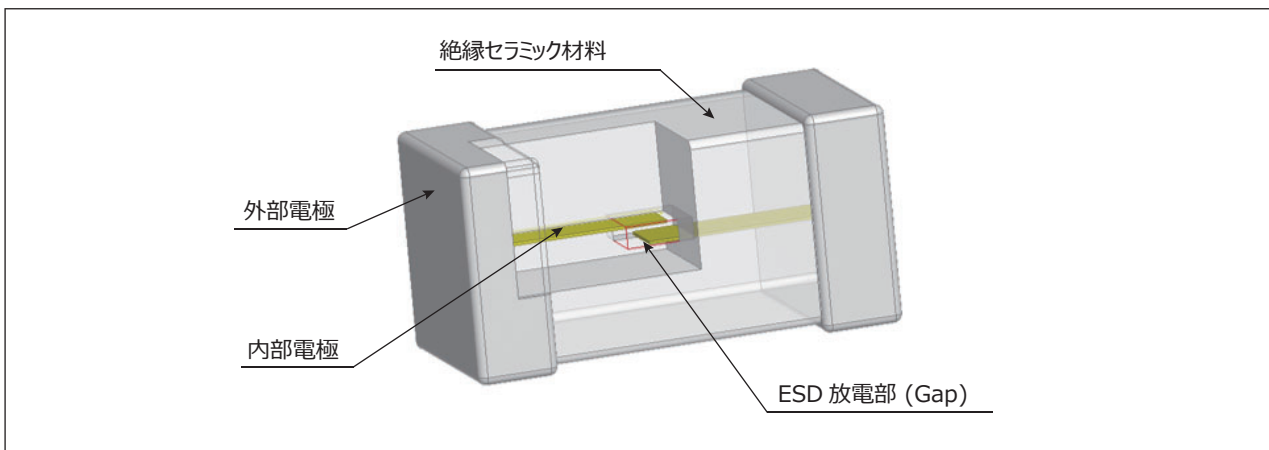
製品概要

- 製品空洞内の電極ギャップ放電を利用した ESD 対策部品

特長

- ESD耐量が高い (車載規格 ISO10605 Air 25 kV 対応)
空洞内の気体中を放電させる構造により、高電圧領域でも高い ESD 耐量を実現
- 低静電容量 (C : 0.1 pF)
1 Gbps 以上の高速伝送でも信号品質を保持
- ノイズ耐性が高い
定格電圧が 50 V と高いため、BCI ノイズなどによる ESD サプレッサの誤動作による通信エラーを防止
- 高温 (125 °C) 対応可能
AEC-Q200 規格に準拠した信頼性を確保

構造



規格

品番	形状 (寸法)	静電容量 *1	ピーク電圧 *2	リーク電流 *3	定格電圧	カテゴリ 温度範囲
EZAEG3W11AV	1608 (1.6x0.8 mm)	0.10 $^{+0.10}_{-0.08}$ pF	1000 V max. (700 V typ.)	1 μ A	50 V max.	-55 ~ +125°C

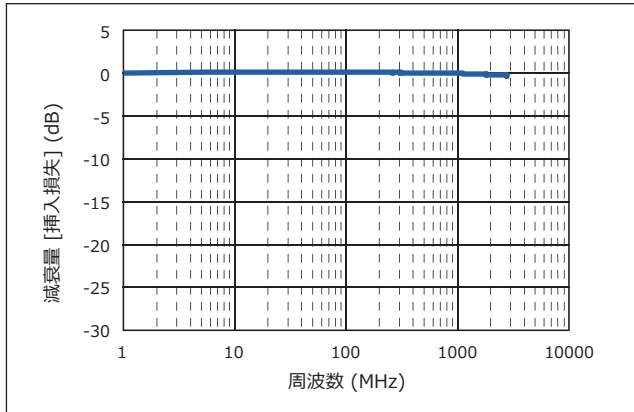
*1: 静電容量 = 下記条件にて測定する。

周波数 : 1 MHz \pm 10 %、電圧 : 1 Vrms \pm 0.2 Vrms、周囲温度 : 25 °C \pm 2 °C

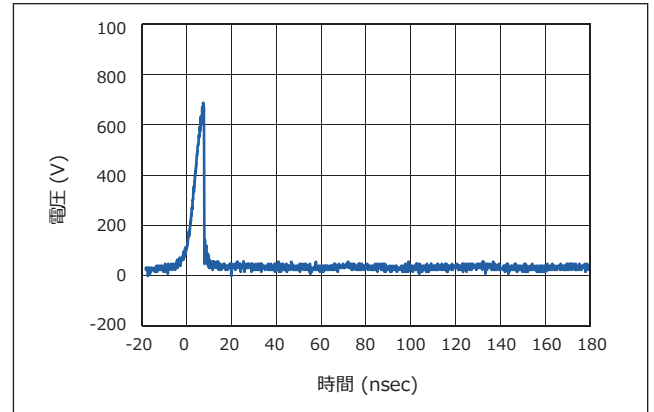
*2: ピーク電圧 = 静電気試験条件は ISO10605 (330 pF-2 k Ω) に基づき 15 kV の気中放電で行い、ピーク電圧値を測定する。

*3: リーク電流 = 定格電圧 (DC50 V) を印加した時の電流値を測定する。

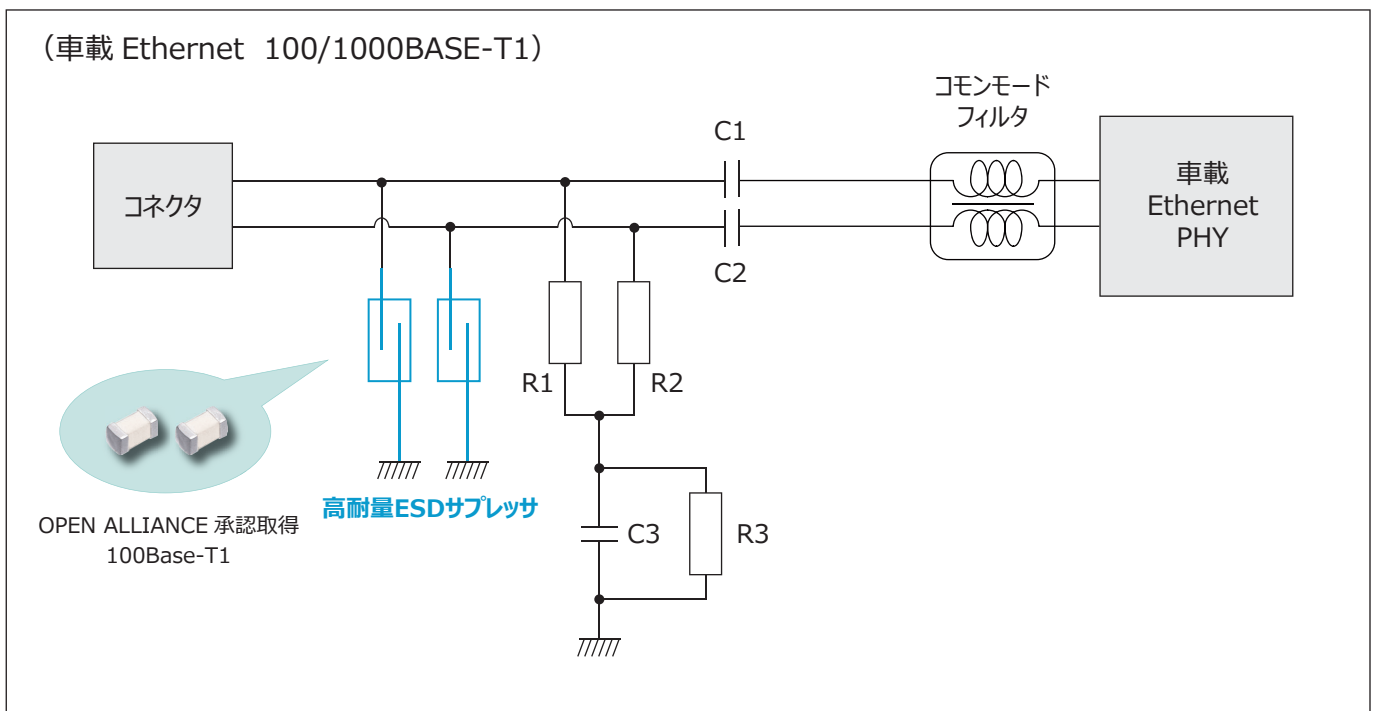
周波数特性



ESD 抑制電圧波形



適用回路



Open Alliance 要求試験における高耐量 ESD サプレッサの評価結果

